

Ⅱ シンポジウム「国際観光と統合リゾート」

1. 開催内容

➤ 開催目的

沖縄県では、カジノを含む統合リゾートを本県に導入する場合の課題、対応策などを検討しており、統合リゾートについてイメージを構築しやすいように「沖縄統合リゾートモデル」、導入した場合の経済効果の試算及びカジノ導入に伴う懸念事項に対する沖縄県の基本的な考え方等について整理してまいりました。

今回のシンポジウムでは、沖縄観光の現状と課題や国際観光の重要性、統合リゾートの観光産業における国際競争力の有効性等について考え、将来の沖縄観光における統合リゾートの意義や役割等について議論を深めるため、シンポジウムを開催します。

➤ 開催概要

(1) 日時：平成24年2月8日（水） 14:00～17:00

(2) 会場：沖縄コンベンションセンター 会議棟 A1

(3) 参加定員・対象：250名程度（参加資格：無/先着申込・定員になり次第事前受付終了）

(4) 参加費：無料

(5) 開催プログラム概要

開場/受付・・ 13:30～

開会挨拶・・ 14:00～14:05（5分）

司会・進行（講師紹介等）：沖縄県文化観光スポーツ部 観光政策課班長 嘉数 裕幸

開会挨拶：沖縄県文化観光スポーツ部長 平田 大一

① 事例報告 「世界水準の観光地整備について～国際的観光地に飛躍させるヒント～」

株式会社 博報堂 カジノ・エンタテインメントプロジェクト 代表 栗田 朗

・・ 14:05～15:05（60分）

～休憩 15:05～15:25（20分）～

② パネルディスカッション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15:25～16:35（70分）

パネラー：

・栗田 朗 株式会社博報堂カジノ・エンタテインメントプロジェクト代表

・梅村 哲夫 琉球大学 大学院 観光科学研究科長

・遠山 光一郎 財沖縄県産業振興公社 シンガポール委託駐在員

・平田 大一 沖縄県文化観光スポーツ部長

ファシリテーター：

・小濱 哲 横浜商科大学 商学部 貿易・観光学科 教授

テーマ

・「国際観光とカジノを含む統合リゾート導入について」

③ 質疑応答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16:35～16:55（20分）

閉会…………… 16:55～17:00（5分）

■ファシリテータ

○ 小濱 哲

略 歴

1957年、長野県生まれ。1985年、筑波大学大学院環境科学研究科修了。その後ハワイ大学観光産業学部客員教授、琉球大学法文学部助教授を経て、名桜大学国際学部長を歴任。現在、横浜商科大学貿易・観光学科教授。国際的な活動は、国際島嶼会議沖縄県代表、沖縄ブルネイ友好協会理事（現在）を歴任。国内では、内閣総理大臣より沖縄振興開発計画策定委員に任命されている他、国や県、市町村の各種委員会で委員長などを務め、地域振興に深くかかわっている。専門はリゾート開発、政策科学で、日本観光研究学会（理事）を中心に研究活動を行っている。

■パネラー

○ 梅村 哲夫

略 歴

1964年、京都市生まれ。青年海外協力隊員（フィジー諸島共和国）を経て、2000年、名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程後期修了。1994年、国連南アフリカ共和国選挙監視員、1994年から96年、世界銀行国際経済局にて経済予測業務に従事、エコノミスト。2001年、琉球大学着任。国立大学初の観光系学科である観光科学科創設メンバー。現在、大学院観光科学研究科長、観光産業科学部副学部長及び国際沖縄研究所太平洋島嶼研究部門併任教授。2006年からJICA持続可能観光開発研修アカデミックアドバイザー兼講師。2011年、UNWTO Regional Seminar 基調講演。沖縄県及び県内市町村の観光関連各種委員を歴任。

○ 遠山 光一郎

略 歴

1969年、沖縄県生まれ。
シンガポール国立大学 大学院修士課程卒業。
東京航空貨物ベトナム事務所長、三井物産シンガポール支店、みずほコーポレート銀行シンガポール支店勤務後独立。現在、シンガポール法人、琉球クリエイティブワークス、代表取締役。コンサル業で企業への助言や役員として経営に携わりながら、小売店を数店舗経営。
財団法人沖縄県産業振興公社ベトナム委託駐在員、民間大使を経て、現在は財団法人沖縄県産業振興公社シンガポール委託駐在員、ウチナー民間大使を務める。著者に「Young Vietnam」

○ 平田 大一

略 歴

1968年、沖縄県小浜島生まれ。大学生の頃から「南島詩人」を語り、個性的な詩の朗読会を開催。詩、笛、太鼓、三線、舞を駆使して1000校を超える学校公演を実現。2000年にうるま市（旧勝連町）「肝高の阿麻和利」を演出、以来、地域の伝承や偉人に光をあてた「現代版組踊シリーズ」を県内外10カ所で展開。2001年「きむたかホール」初代館長、2005年「那覇市芸術監督」を歴任。その間に、一般社団法人タオファクトリーを立ち上げ「教育で地域を、文化で産業をおこす」社会起業家として幅広い層から多くの支持を集める。2011年4月より沖縄県仲井真知事2期目の目玉人事として、新設された「文化観光スポーツ部」の初代部長に抜擢。行動する詩人、43歳の若きリーダーとして絶大な人気を誇る。

2. 配布資料一式

■ ■

沖縄県シンポジウム「国際観光と統合リゾート」
世界水準の観光地整備について
～国際的観光地に飛躍させるヒント～

— 株式会社博報堂 グループ・エンターテインメントプロジェクト —

代表 藤田 誠

2012年 2月 8日

■ ■

HAKUHODO

HAKUHODO INC.

■ ■

ディスティネーションリゾートの誕生とビジネスモデル

■ 1990年代以降世界各地で誕生するディスティネーションリゾート

ハワイ
ラスベガス
ニューヨーク
東京
シンガポール
メルボルン

[http://www.fox.com/entertainment/2012/02/07/fox-entertainment-projects-entertainment-2012/](#)

It will be assisted by a Florida Florida TV station whose 40% of Miami area voters are in favor of Las Vegas-style gambling, while 12% remain opposed. "As more information comes out of what the FBI to the legislature might actually be, and as they get more informed about what can be done with a quality (recreation) resort, I think those numbers will change," casino advocate Jack Lovell said. [http://www.fox.com/entertainment/2012/02/07/fox-entertainment-projects-entertainment-2012/](#)

• The Florida Department of Community Services is in need of a boost, and the state is in need of additional revenue to cover Government, health and education programs. That's why some politicians are pushing the possibility of permitting casino gambling at the 17-year-old structure. "There is more possibility we could get it done and start it off quickly," legislator Dan Smith said. [http://www.fox.com/entertainment/2012/02/07/fox-entertainment-projects-entertainment-2012/](#)

統合型リゾートIntegrated Resorts (IR) の事業構造



■複合リゾート Entertainment Complex から統合型リゾート Integrated Resorts への進化

ディステーションリゾート事業

≡インテグレートッドリゾート事業

還元率は95%以上
富の再配分装置としての
機能も併せ持つ



ノン・ゲーミング部門
MICE・エンタテインメント 他

世界中で競合する有力観光地のなかから選択される国際観光
ディステーションとなりうる

グローバルクラスのエンタテインメントと
国・地域としての独自性が不可欠。

わずか3~5%の東園積を占めるゲーミング部門

- ・事業全体の50~80%の収益をあげる
- ・巨大な初期投資を誘致する
- ・事業採算性が低いMICE Entertainment を支える

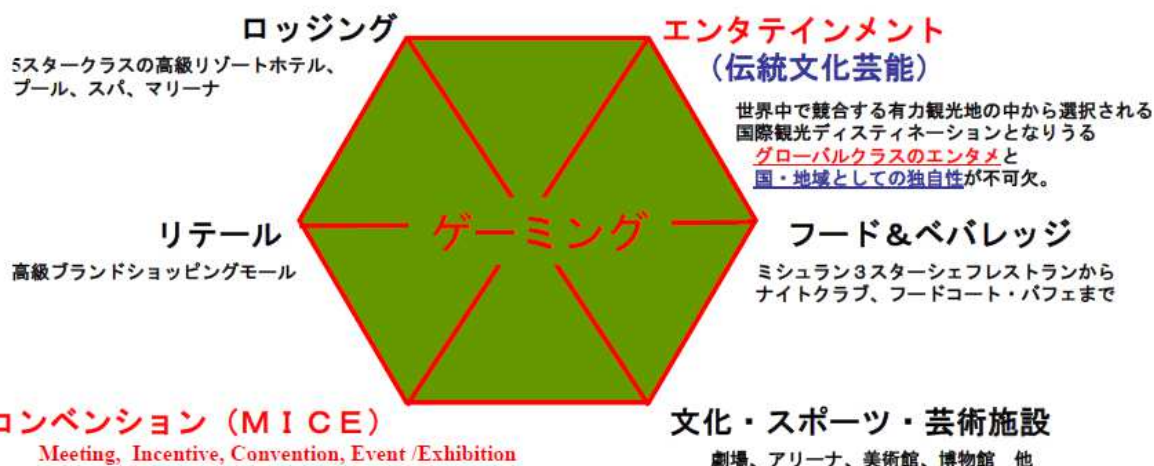
- ・世界のビジネスエグゼクティブを誘致する「情報・物流」
- ・ファミリー層の滞在日数を伸ばす「人流」
- ・世界の富裕層を呼び込む「金流」

HAKUHODO INC.

統合型リゾートIntegrated Resorts (IR) 事業の構成



■統合型リゾートIntegrated Resorts (IR) =ゲーミング部門 + ノン・ゲーミング部門

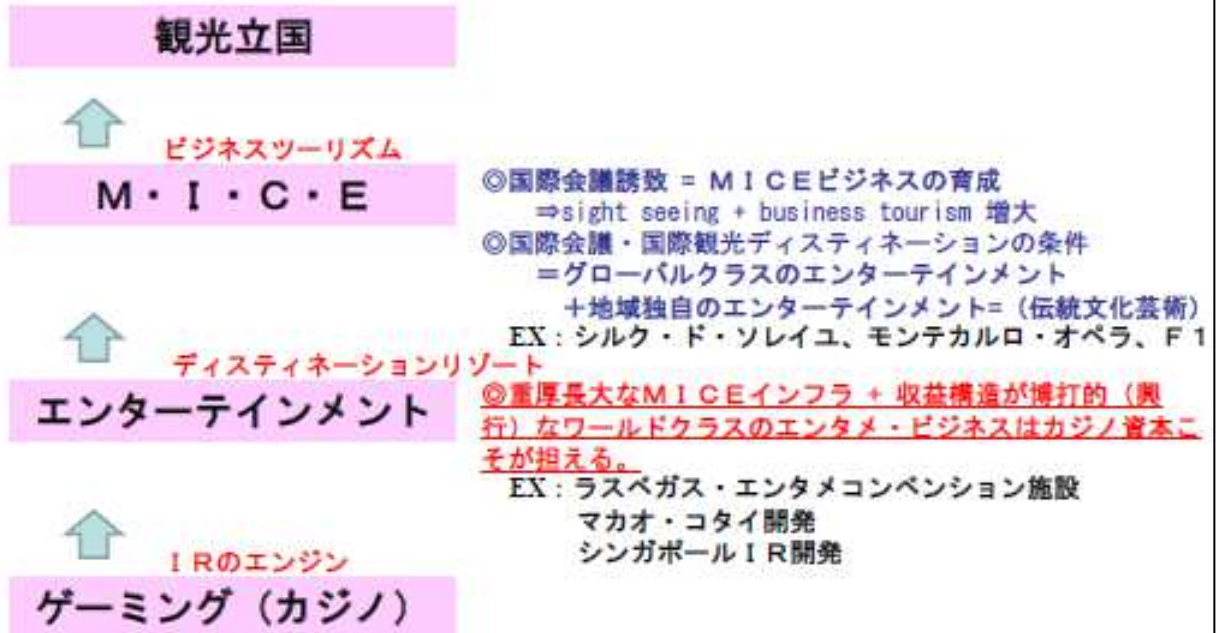


世界のビジネスリーダーと知識層を呼び込む
国際会議、見本市・展示会、報奨旅行、ビジネスミーティング
ファミリー客も呼び込むスポーツ、イベント

HAKUHODO INC.

国際観光立国推進のエンジンとしての Gaming (Casino) の役割

■統合型リゾートIntegrated Resorts (IR) = 知財集約型産業



HAKUHODO INC.

日本がカジノを合法化しIRを導入する政策目的

日本におけるカジノ合法化の目的は、
MICEビジネス + エンターテインメント (文化芸術) 産業育成
 を活用した
国家成長戦略の柱としての観光立国推進・振興
東アジアのハブとしての復権
 → 観光振興・地域再生 (地方の独自財源/産業創出)、雇用創出、
 税収増 (福祉・年金財源/消費税対策) + 復興財源

2007年1月 観光立国推進基本法

↓

2007年6月 観光立国推進基本計画

- ① 2030年 観光インバウンド 3000万人
- ② 2010年 観光アウトバウンド 1000万人
- ③ 2010年 国内アラウンド 年間4泊
- ④ 2010年 観光旅行消費額 30兆円
- ⑤ 2011年 国際会議開催 5割増



◎政策目的: 観光振興 = 観光立国推進に資する

◎国家としての観光立国推進戦略ストーリー:

= sight seeing + business tourism 増大

⇒ 国際会議誘致 = MICEビジネスの育成

◎国際会議・国際観光ディスティネーションとしての条件:

グローバルクラスのエンターテインメント

+ 地域独自のエンターテインメント (= 伝統文化芸術)

= business tourist 誘致の条件



↓

2012年 IR推進法 (基本法)

重厚長大なMICEインフラ + 収益構造が博打的 (興行) なワールドクラスのエンタメ・ビジネスはカジノ資本が担える。

日本がベンチマークとするシンガポールにおけるIRの導入



2004年から2006年にかけてR F Cと二度にわたるR F Pを通じた政策誘導により、ビジネス・金融街に近いマリーナ・ベイ地区と、アーバンリゾートであるセントーサ島に、それぞれ異なった開発コンセプトを提示して事業者を公募。ワールドクラスの観光ディステーションとなりうるランドマーク性を有し、カジノフロアを総開発面積の3~6%以内に限定したカジノ・エンターテインメント・コンプレックス・リゾート、IR開発計画を実現。

マリーナ・ベイ

M I C E

Meeting, Incentive, Cnvention, Exhibition

ビジネス・ツーリズム 対象

M I C E、コンサートホール、博物館などの文化施設と、ホテル、空中庭園、高級レストラン、ナイトクラブ、ほかからなる都市型統合リゾート。 2010/04/27開業 2,560室

セントーサ島

Multi Resort Experience

ファミリーエンターテインメント 対象

ユニバーサル・スタジオ・シンガポールを中核に、ホテル、シアター、海洋ラグーン・テーマパークからなるアーバンリゾート統合リゾート。 2010/02/14開業 1,800室

開発面積20.5万㎡ 投資金額4,800億円 開発面積49万㎡ 投資金額3,954億円 INC.

生活者が抱くカジノ（IR）に対する負のイメージ

■一般的な生活者のカジノに対する誤ったステレオタイプなイメージとは・・・

■ハリウッド映画

「いまだにマフィアが仕切る、賭博とショウビジネスの街ラスベガス」



■東映任侠映画

「やくざと悪代官と癒着して、善良な家族を路頭に迷わす鉄火場」



観光立国推進の世界標準となりつつある実際のIRとは

■IRの定義

IRとは、シンガポール政府がつくった造語で統合リゾート **Integrate Resorts** の略語。施設全体の3~5%を占めるカジノが、投資を呼び込み事業採算性の低いMICE（国際会議・展示会・報奨旅行・イベント）、文化・エンターテインメント事業を支えることで成り立つ「世界的なランドマーク性を有する賑わいのある街を税負担なく実現する、民間資金による公共投資としての都市開発」を指す。

■IRの目的と意義

「観光産業振興」「地域活性化」「雇用創出」「税収増」「経済再生」

シンガポールにおいては下記実現を目指してIRを導入。

- ・清潔で緑あふれる安全・健康な都市ゆえのシンガポール・パッシングを回避
- ・ビジネスマンや観光客にとって興奮する**刺激的で楽しい街づくり**
- ・世界の投資家と世界で活躍している人々が集う街づくり

■IR導入による社会コスト

「組織犯罪の介入」「風紀の乱れ」「犯罪の増大」「青少年への悪影響」「勤労意欲の阻害」

⇒諸外国の先進事例では良好にコントロール

「ギャンブル依存症の増加」

⇒既存の依存問題ともどもセイフティーネットの構築が必要

HAKUHODO INC.

Clean & Safety を標榜するシンガポールがあえてカジノを導入した背景

■観光ディステーションとしての相対的なポジション低迷を受けたIR導入に先立つ国策による施策

世界3大がっかりモニュメント「マーライオン」

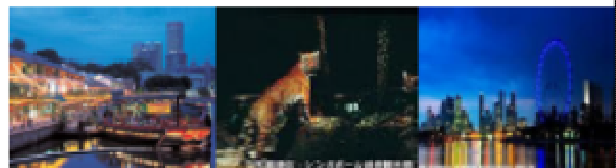
花と緑と鳥がさえずる「美し」くて「安全」で「安心」だが「退屈」で1日で飽きてしまう観光地



過去のイメージからの脱却



- ・夜間のみ営業する世界初のナイトサファリ
- ・多文化の都市文化を象徴するイルミネーション
- ・川沿いの老朽した埠頭や倉庫群を再開発した親水護岸を活用した飲食施設群
- ・世界最大の観覧車シンガポールフライヤー

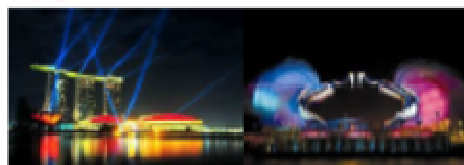


⇒世界の観光地の先例を検証したうえで、敢えて他の物まねではない夜間の時間消費のあり方を提案

さらなる前進に向けた政策転換



IR導入



HAKUHODO INC.

シンガポールの指導者の国会演説



■ IR導入の際のシンガポールの指導者の国会演説

2005年4月18日 リー・シェンロン首相

「政府が検討しているのは統合リゾートであり、カジノではありません。観光客、エグゼクティブ、ビジネスマンなどがリゾートを楽しんだり、コンベンションや国際会議に参加したりするためにここを訪れるのです。ただ、大規模開発には小さな比率で施設全体に財政面の恩恵をもたらす非常に重要な部分となるカジノが存在します。問題はシンガポールでカジノを認めるか否かではありません。それだけであれば、政府の決定は明白です。私たちが本当に考えるべきことは、カジノを伴うという理由のみで、数十億ドル規模の総合観光事業投資を却下することが国益かどうか、ということです」

2005年4月18日 ウォン・カン・セン内務大臣

「もしもシンガポールが、検討され尽くした解決法という安全な選択肢にこだわるのであれば、わが国の成長は停滞します。我々がチャンスをとらえ、行動を起こすことに躊躇したなら、将来その事業が近隣都市で実現した時、我々は自ら選択した“慎重なアプローチ”を後悔するでしょう」

2005年4月19日 シンガポールの国父・リー・クワンユー内閣顧問

「私は今でもギャンブルが嫌いです。しかし世界は変わりました。シンガポールは変化すべきでしょうか？それともまだカジノがあるという理由でIRを拒絶すべきでしょうか？もしわが国が拒絶したら、世界で活躍している人々の国名リストからわが国は削除されてしまうでしょう。必ずやわが国は前進します。さあ、やりましょう！」

HAKUHODO INC.

シンガポールのIR 開発



面積707.1平方km²、人口4,737千人



HAKUHODO INC.